

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立北宇和高等学校三間分校
学校番号(43)

評価実施日	令和4年2月17日(木)		
委員	氏名	所属等	備考
	稲田 司	司法書士	
	渡辺 吉男	道の駅みま 出荷部会会長	
	森藤 裕子	宇和島市立三間公民館長	
	樋口 宏治	吉田三間商工会議所副会長	
	山田 慎一	P T A会長	
	高野 良二	宇和島市立三間中学校教頭	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
1 今年度の最終評価について (学校評価アンケートを踏まえて)	
(1) 学校経営について 生徒一人一人のよさを見つめぬばす教育の実践を行っている。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、さまざまな行事が縮小されてしまったが、限られた中でも地域の行事に積極的に参加している。少人数であることを強みにして、地域になくってはならない高校として魅力をアピールしてほしい。	今年度から、北宇和高等学校三間分校となったが、三間高等学校の教育目標であった「生徒一人一人のよさを見つめぬばす教育」を引き続き実践していきたい。教科活動や地域に根差した活動などで、北宇和高等学校本校と連携、協力していくことで、三間分校としての魅力を更に高めていきたい。
(2) 教科指導について 多様な習熟度の生徒に対応するために、学習支援員や補助教員を配置するなど、きめ細かな指導を行っている。「学習習慣の確立」が不十分だと考える生徒や保護者が多く、課題であるようだ。ICTをうまく活用してほしい。	昨年度は、新型コロナウイルス感染症のために臨時休業や分散登校が実施され、特に一年生の学習習慣が定着しにくかった。その反省に基づき、今年は教職員のICT研修を複数回実施した。来年度も家庭学習の充実につながるように、現在行っているICT研修を継続して、教職員のICT技術の向上を図ってきたい。
(3) 生徒指導について 生徒は、校内ではもちろん校外でも声を掛けると気持ちの良い挨拶で答えてくれる。自然に挨拶できる素敵な生徒を育ててくれている。校外で自ら進んで挨拶ができるようになれば更によくなるのではないかと。 生徒数の減少で、部活動が低迷しているのが残念である。三間の良さをもっとアピールしてはどうか。今後も地域と連携した活動を積極的に行ってほしい。	挨拶については、正門で教職員による朝の声掛けを行った。積極的に挨拶ができるよう、これからも働きかけを継続していきたい。 部活動については、変更を行った部活動で、どういう状況になるのかきちんと分析をしたい。生徒にとってプラスになる活動の在り方を探ってきたい。
(4) 進路指導について 進学も就職も生徒の進路希望実現のために丁寧な指導が行われている。三間町も高齢化が進み、このままでは過疎化が一層深刻になる。高校在学中に地域との交流活動を通して、地域の良さを認識し、将来三間地域に就職し、地域を支え、地域の発展に貢献できる高校生を育成してほしい。	本校では例年、地元企業への就職をする生徒が多くなっている。離職する場合もあるが、大部分の生徒は、地元で再就職し地元を支える存在となっている。これからも、就業体験などの実践的なキャリア教育を充実させ、早期離職者を減らし、地域に貢献する生徒を育成できるよう、きめ細かな指導を行ってきたい。
(5) 人権教育について 学校評価アンケートの結果を見ると、「入学してよかった」という評価が、生徒、保護者とも昨年と比べて上がっている。コロナ禍においても学校行事等を工夫して実施してもらったおかげではないか。人権学習HRもリモートを活用して参観させてもらい、様子をうかがうことができた。今後も積極的に行ってほしい。	生徒一人一人を見つめぬばす教育の実践を今後も継続していきたい。昨年度実施することができなかったリモートによる公開授業を実施することができた。今後もICT機器をうまく活用し、保護者や地域の方々に学校の活動を伝えていきたい。さらに、生徒の心の悩みに対する指導・支援体制の一層の充実を図りたい。
(6) 特別支援教育について 多様な生徒のニーズに対応した支援体制がとられている。昨年度から実施された通級指導については、長期休業中に就業体験学習を取り入れるなど、普段の自立活動の成果を見るための工夫がなされている。多様な生徒に対応できることを、三間分校の魅力として積極的にアピールしてほしい。	来年度以降も、支援を必要とする生徒は増加していく可能性が高い。これまで行っている学習支援員や授業補助教員による学習支援を継続し、生徒一人一人のニーズに対応したきめ細かな指導を行いたい。通級指導を希望する生徒も増加することが考えられるので、通級指導を行う方法についても、より効果が高まるように工夫していきたい。
(7) 学校安全と防災について 高校生に防災士の資格を取得させる取組はすばらしい。豪雨や地震などの災害においては、高校生は地域から守られる存在ではなく、地域を守る存在となる。これからは防災教育に力を入れてほしい。	今年度愛媛県の学校安全優良学校に選ばれた。これまでの、防災訓練や特色ある防災行事、高校生防災士の養成など、高校生の防災意識を高めるための特色ある活動が評価されたものと思われる。これからは、防災教育を積極的に推進していきたい。
2 来年度の学校運営への提言 今年度、三間分校として新たなスタートを切ったが、三間高校時代に築いた地域に根差した地道な活動を継続できていること、今後も積極的に情報発信をしてほしい。小規模校であることを強みとして、大規模校にはできない、三間分校独自の特色ある取組をこれからも積極的に行ってほしい。	来年度は、部活動変更を予定しており、本校と分校との交流を積極的に行いたい。部活動だけでなく、農業科間の相互交流や地域との交流活動における協力など、更に三間分校の魅力をアップさせたい。全国募集のPRや中学校説明会においては、三間の米作りを軸にして米作りをしたい生徒を全国から募集できないかと考えている。